

絆が社会を変える

札幌市議会議員

けんゆう

すずき健雄

昨年の東日本大震災から早くも1年あまりが経ちました。多くの人の生命を奪った大地震と大津波、さらに福島第一原子力発電所の事故は住民の安全安心な生活のみならず、ふるさとの自然そのものを完全に破壊しました。

きれいな水や空気、安全な食料、ライフラインの整った住宅といった、それまであたり前と思っていたものを奪われてはじめて、あたり前のありがたさを思い知らされました。

そして、あの震災が気づかせてくれたもう一つの大切なものは、人と人との絆でした。地域や国籍をこえた多くの人々の善意は、私たちに元氣を与えてくれました。都市化、核家族とともに共同体が崩壊し、地域では今、高齢者や障害者などの孤独死が問題となっています。高齢化はますます進み、2030年には37%が単身世帯という本格的な「無縁社会」に突入します。未曾有の災害が気づかせてくれた「絆」を家族や地域がいかにとり戻し、また新たな「絆」をいかに創造していくかが今後の社会を生き抜く知恵でもあります。

一見平和にみえる日常生活においてこそ、人と人との「絆」が貴い生命を守る命綱なのです。助けあい、支えあいによって一人ひとりのくらしが守られ、うるおいやぬくもりのある絆社会を目指して参ります。

東北の被災地を視察し、今後の札幌市の防災計画や防災教育に役立てたい



第51回1000万人ラジオ体操 みんなの体操祭、札幌で開催

7月22日モエレ沼公園から全国へ

札幌地方ラジオ体操連盟会長としての私の永年の夢であった「1000万人ラジオ体操祭」が、札幌市東区のモエレ沼公園（雨天の場合は「つどーむ」で開催されることとなりました）。

当日は約1万5千人が参加の予定で、朝6時30分からNHKのラジオとテレビの電波に乗って、全国ネットで「札幌の元氣」を発信します。

プログラムは体操祭のほか、表彰式典、アトラクションを予定。全国の支部から集結したラジオ体操ファンは前日から札幌入りして一泊、その後は道内旅行を楽しむ人たちもいて、経済の活性化にもつながります。さわやかな夏の札幌・東区の魅力を全国に向けて発信する絶好のチャンスです。



▶2月19日北光地区「雪んこ大会」にテレビ体操でおなじみの多胡肇先生とアシスタントの金子梨紗さんがラジオ体操の普及と7月にモエレ公園で行われる「1000万人ラジオ体操」のPRも兼ね来札幌してくれました。



人も街もいきいき!ぬくもりと潤いのある東区へ

創成川「北10条橋」の 人道橋改築

かねてから北10条橋は、歩道が狭く横断歩道もクランク状になっており、しかも距離があるため低学年児童や高齢者は青信号を渡り切れない状態でした。人道橋は欄干も低く、積雪時は児童転落の危険も高いため改築してほしいとの相談を地域の皆さんと北九条小学校から受けました。

東区・北区両区長に私から「両区の最重要要望事項」として取り組んでほしいと要望したところ、昨年11月に「校舎改築に合わせ完成を目指す」という回答をいただきました。



▲北10条橋歩道

苗穂駅周辺再開発事業がスタート

を開設、自由通路を整備して南北の往来をスムーズにし、活性化を図ります。新駅周辺の遊休地でも大規模開発が見込まれます。

苗穂駅周辺は、札幌の草創期に北海道の物流の拠点として重要な位置を占めていました。しかし、その後の札幌のめざましい都市化の波にとり残され、歴史ある地域を再整備し活性化させたいというのが私の初当選以来のライフワークの一つでした。

この苗穂駅周辺の再開発事業がいよいよスタートします。2018年をめどに、現駅舎を約300メートル西側に移動し、橋上に新駅



▲苗穂駅東側

札幌市議会
議員
東区

けんゆう
すずき健雄

政務調査だより

平成24年度東区予算関連版

東区から
躍進する
新しい札幌!!

発行所/すずき健雄政務調査室
住所/065-0011 札幌市東区北11条東3丁目
TEL.(011)721-8788
FAX.(011)721-8070